



【編集発行】

熊本県天草市役所
総務部秘書課広報広聴係
〒863-8631 天草市東浜町8番1号
TEL 0969-23-1111
FAX 0969-22-7016
URL <http://www.city.amakusa.kumamoto.jp/>
E-mail hisyoka@city.amakusa.lg.jp



練習嫌いだがスピードのある水泳選手。それでも、そんな選手の方が有望だと考えるコーチが多い中、「世界を目ざすには素直な人間性が大切だ」と訴えたコーチがいた。その人は北島康介選手と北京五輪を目ざす。「助言に素直に耳を傾ける人間性」…私は？【空】

朝通勤途中に、グラウンドで元気に遊ぶ児童の姿をチラッと見かけます。中には、半そで・半ズボンの子もいて、暖房のきいた車の中から見ているおじさんには考えられません。そのおじさんも年に数回、百葉の力で元気を出し、小島凡になるときがあります。【凡】

先月中旬、家族5人が次から次へとインフルエンザに感染。編集作業の真っ只中で1番忙しい時期に戦線離脱。今から大変なのに(ニヤッ)と思っていたら、これまでにない体の痛みが…。罰があたったのかもしれませんが。皆さんもインフルエンザにはご注意ください！【松】

ちまたでは、インターネット上で自分の日記を公開する“ブログ”が大流行。「天草Webの駅」(2・3ページ参照)を活用すれば、私にもできるかな?なんて思っています。でも昔は、日記はだれにも見られないように隠していたような…。時代も変わったなあ。【村】



航行の安全を見守る“マリア像”

Vol.25
河浦町崎津

崎津の海の玄関口の岩場にたたずむマリア像。キリスト教信者などによって昭和49年に建てられて以来、付近を行き来する漁船の航行の安全と豊漁を静かに見守っています。

また、マリア像のかなたの水平線に沈む夕陽は絶景で、その風景を写真におさめようと多くのカメラマンが訪れます。



「与謝野夫妻の歌碑」

五足の靴一行の1人・与謝野寛は、五足の靴の旅から25年後の昭和7年8月、妻の晶子と末娘の藤子を連れて再び高浜を訪れました。

高浜では、高浜尋常高等小学

校で講演するなどして、高浜の庄屋を務めた上田家に宿泊。また、現在の十三仏公園からの眺めを次のように詠んでいます。「天草の十三仏の山に見る 海の入り日とむらさきの波」(鉄幹〔寛〕)

「天草の西高濱の白き磯 江蘇省より秋風ぞ吹く」(晶子)

これらの歌は自然石に刻まれ、十三仏公園に建てられています。ぜひ、ご覧ください。

※「探訪・五足の靴」は今号で終了します。



▲十三仏公園に建てられている
与謝野夫妻の歌碑